

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年8月5日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊取町役場		代表者名	藤原 敏司
担当者部署	総合政策部		連絡先電話番号	072-452-9016
担当者役職	主事	担当者氏名	堀野 涼子	連絡先E-mail
住所	590-0495 大阪府熊取町1丁目1番1号			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	坂下 知司
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	熊取町が取組を検討しているあらゆる分野において多岐にわたるご意見をいただいたことに加え、熱心に事前準備に取り組んでいただいたこと。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年7月29日	13時00分	14時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) キャッシュレス化を地域内店舗に進める上での通信環境や導入機器への費用助成、決済サービス事業者や地域内店舗との議論の進め方、行政手続電子化による職員の労力の増大・事務量の増加、庁内における進捗管理など。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) 出来るだけ早く、事業化に向けて実務の課題を洗い出すとともに、電子化・キャッシュレス化を進めていく上での自治体側の障壁、課題、取組方法等をアドバイスいただく。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) 熊取町スマートシティ構想に係る行政DX分野、まちのキャッシュレス分野、教育分野について。</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) ・行政DXに取り組むことは、住民にとって面倒な手続きを簡素化することにつながる。 ・国や大阪府の動き、流れを察知しうまく活用していくことが重要。ビッグデータに関して、熊取町の規模で取り組むより都道府県単位で取り組む方が効果的である。 ・教育分野に関して、仮に一気にタブレット端末を導入すると更新時期も一時に迎えてしまうので、一斉に行うのではなく、既に持っている家庭用端末も活用し取組を進めていく。 ・キャッシュレス化は不正防止や非効率性の是正にも貢献する。</p> <p>具体的な成果物 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>改善又は解決されなかった内容 スマートモビリティ分野、データヘルス分野、子育て分野、防災分野。</p> <p>アンケートの内容と分析結果 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

